

郡市区等医師会における勤務医に係る調査 報告書

平成 26 年 2 月

日本医師会勤務医委員会

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要と考察	2
III 調査結果	3
1 郡市区等医師会の会員数及び会員数に占める勤務医等の割合	3
2 勤務医の入会促進について	13
3 勤務医の入会促進に向けた取り組みの実施状況	15
4 勤務医が医師会に入会しない理由	21
5 勤務医が医師会に入会するための改善策	22
調査票	調査票 1

I 調査の概要

1. 目 的

日本医師会勤務医委員会では、平成 24・25 年度の会長諮問「勤務医の組織率向上に向けた具体的方策」について検討を行っている。同委員会が、答申作成に向けて議論を深化させていくなかで、郡市区等医師会における勤務医に係る意識や取り組み等について、その現状を把握するとともに、日本医師会の組織強化に向けた取り組みの資料とすることを目的とする。

2. 期 間

平成 25 年 7 月

3. 対 象

891（全国すべての郡市区等医師会）

4. 方 法

郡市区等医師会に調査票を郵送し、日本医師会に返送。

5. 回答数

794（回答率 89.1%）

Ⅱ 調査結果の概要と考察

- ◆ 郡市区等医師会員に占める勤務医の割合は 40～50%未満が 26.7%と最も多く、次いで 30～40%未満が 23.0%と続く。勤務医会員の割合が 50%を超える医師会が 41.1%を占める一方で、30%に満たない医師会はわずか 9.2%に過ぎず、多くの医師会で勤務医の占める割合が高いことがうかがわれる。
- ◆ 郡市区等医師会における役員の平均人数は 15.6 人であるが、勤務医の役員の平均人数は 2.9 人にとどまっており、勤務医の役員がいない医師会も 19.8%あった。
- ◆ 郡市区等医師会が選出する都道府県医師会代議員数は平均で 4.7 人であるが、勤務医の平均人数は 0.7 人であった。また、勤務医の代議員を選出していない医師会が 73.6%と多数を占めた。具体的に勤務医を医師会内でどのように処遇し、勤務医と協働するかについて、十分な対応が行われていないのが現状ではないだろうか。
- ◆ 勤務医の入会促進については、81.7%が「関心がある」又は「やや関心がある」と回答した。その理由を尋ねたところ、「地域医療連携を促進するため」との回答が 81.7%と最も多く、「医師会の会員数を確保するため」「勤務医の意見等を会務に反映させるため」が 6 割を超えた。
- ◆ 勤務医の入会促進に向けた取り組みを実施している医師会は 59.2%であった。その内容は、「講演会、研修会の開催(68.3%)」「懇親会、意見交換会等の開催(58.3%)」が上位を占め、「医師会役員に選任」も 56.2%あった。また、入会促進に向けた取り組みを実施している医師会のうち 66.8%がその影響があったと回答しており、「医師会が行う各種事業に、勤務医の協力が得られるようになった(56.4%)」「病診連携がスムーズになった(55.4%)」「医師会主催の講習会等に、勤務医の参加者が増加した(50.0%)」が半数以上を占めた。
- ◆ 勤務医が入会しない理由については、「医師会活動への無理解・無関心(66.3%)」が最も多く、「メリットがない(少ない)(65.5%)」「医師会活動に充てる時間が取れない(47.4%)」が続いた。
- ◆ 勤務医が医師会に入会するための改善策については、「医師会活動を目に見える形で伝え、理解を得るための広報活動強化(54.4%)」「医療や政策に係る様々な情報提供の充実(43.1%)」「医師賠償責任保険や医師年金など、会員サービスの充実(42.6%)」が上位を占めた。
- ◆ アンケート結果からは、郡市区等医師会における具体的で地道な勤務医との連携、入会勧誘などをいっそう推進することで、勤務医の組織率向上が図られる可能性が示されたといえるのではないだろうか。

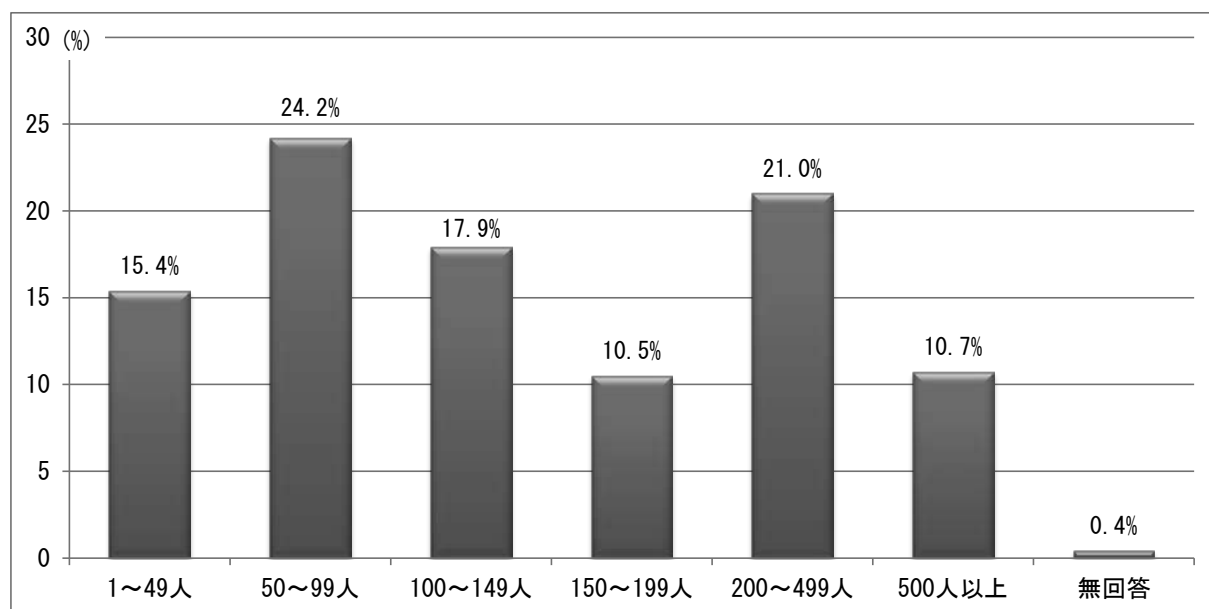
Ⅲ 調査結果

1. 郡市区等医師会の会員数及び会員数に占める勤務医等の割合

本調査に回答していただいた 794 郡市区等医師会における会員数の内訳は、50～99 人が 24.2%を占めており、次いで 200～499 人が 21.0%などとなっている。また、最も規模の小さい医師会の会員数は 8 人、最も規模の大きい医師会の会員数は 3,716 人で、会員数は平均で 225.0 人であった。

図・表1 医師会会員数(n=794)

1～49 人	50～99 人	100～149 人	150～199 人	200～499 人	500 人以上	無回答	平 均
122 (15.4%)	192 (24.2%)	142 (17.9%)	83 (10.5%)	167 (21.0%)	85 (10.7%)	3 (0.4%)	225.0

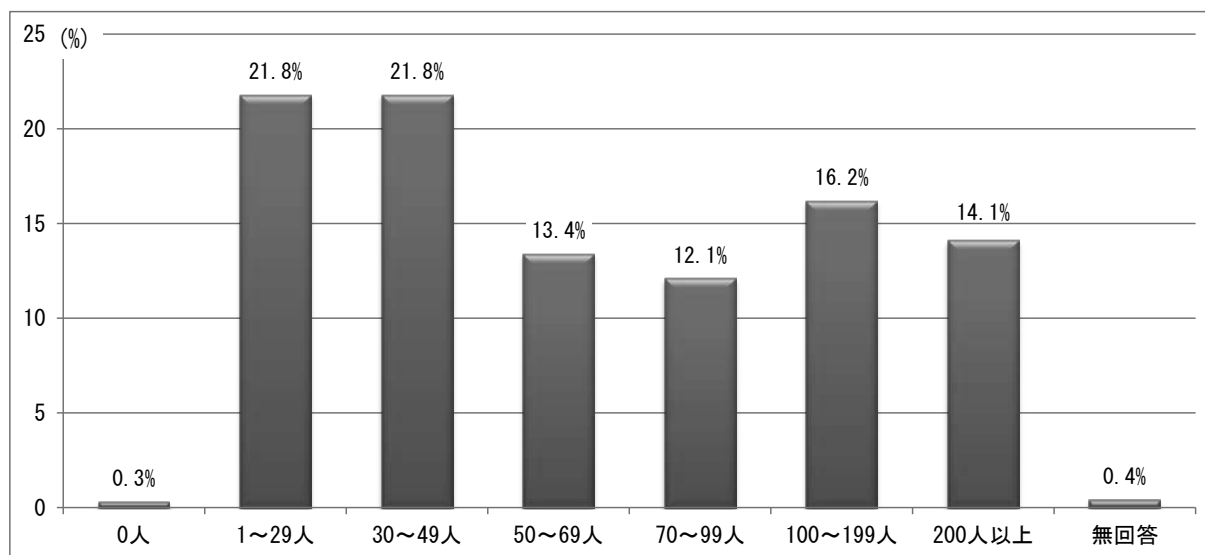


郡市区等医師会における勤務医会員数は、1～29 人及び 30～49 人が 21.8%と最も多く、次いで 100～199 人が 16.2%となっている。

勤務医会員数は平均で 114.9 人であった。

図・表2 勤務医会員数(n=794)

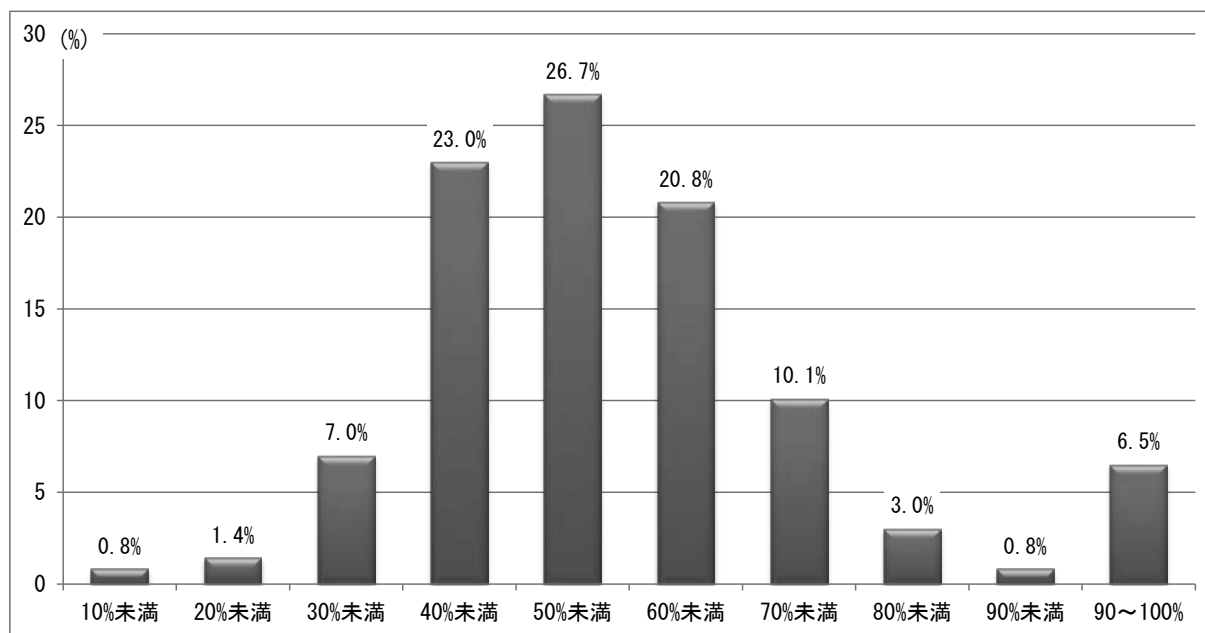
0 人	1～29 人	30～49 人	50～69 人	70～99 人	100～199 人	200 人以上	無回答	平 均
2 (0.3%)	173 (21.8%)	173 (21.8%)	106 (13.4%)	96 (12.1%)	129 (16.2%)	112 (14.1%)	3 (0.4%)	114.9



郡市区等医師会会員に占める勤務医の割合は、50%未満が26.7%を占め、次いで40%未満が23.0%となっている。

図・表3 医師会員に占める勤務医の割合(n=790) *無回答を除く

10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90～100%
6 (0.8%)	11 (1.4%)	55 (7.0%)	182 (23.0%)	211 (26.7%)	164 (20.8%)	80 (10.1%)	24 (3.0%)	6 (0.8%)	51 (6.5%)

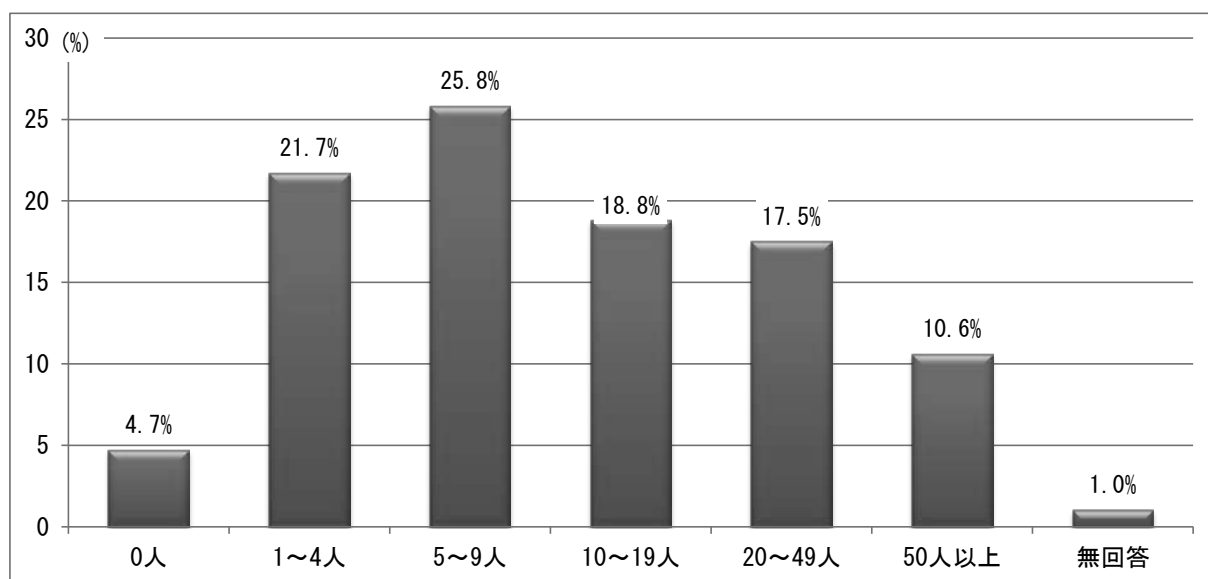


郡市区等医師会における女性勤務医数は、5～9人が25.8%と最も多く、1～4人が21.7%で続いた。また、女性勤務医はいないと回答した医師会も4.7%あった。

女性勤務医数は平均で21.9人であった。

図・表4 女性勤務医数(n=794)

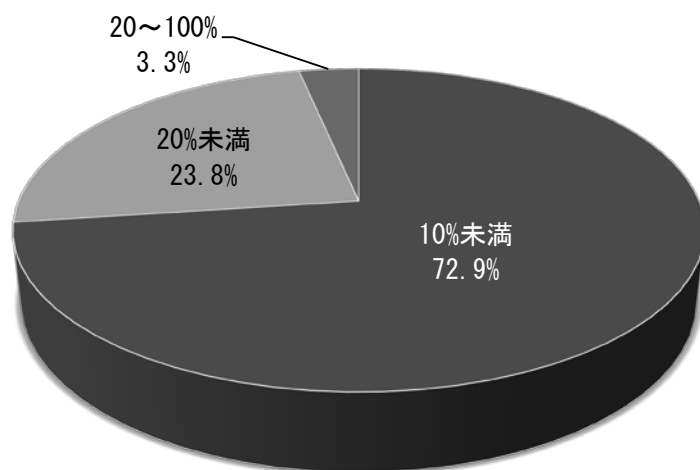
0人	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50人以上	無回答	平均
37 (4.7%)	172 (21.7%)	205 (25.8%)	149 (18.8%)	139 (17.5%)	84 (10.6%)	8 (1.0%)	21.9



郡市区等医師会会員に占める女性勤務医の割合は、10%未満が72.9%を占め、次いで20%未満が23.8%となっている。

図・表5 医師会員に占める女性勤務医の割合(n=785) *無回答を除く

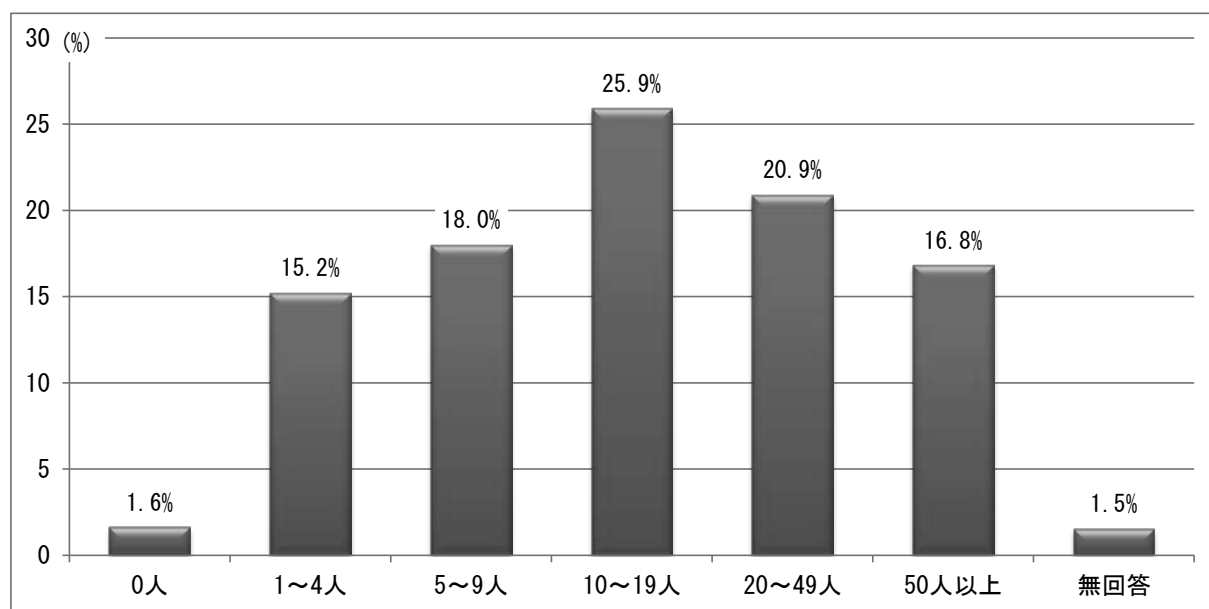
10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90～100%
572 (72.9%)	187 (23.8%)	21 (2.7%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)



郡市区等医師会における女性数は、10～19 人が 25.9%と最も多く、20～49 人が 20.9%で続いた。女性数は平均で 32.7 人であった。

図・表6 女性数(n=794)

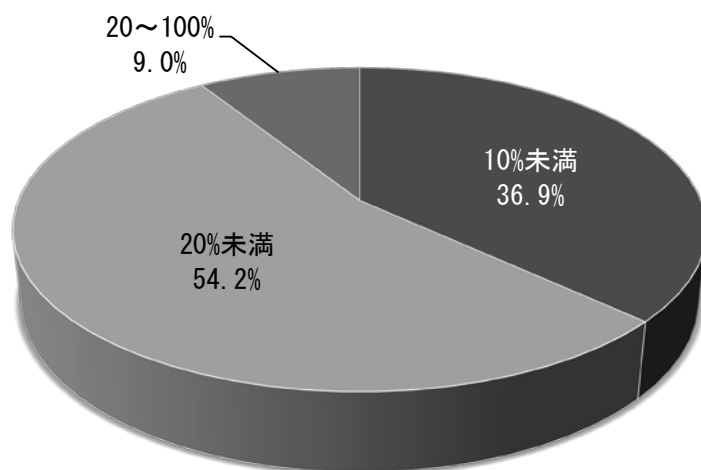
0 人	1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～49 人	50 人以上	無回答	平 均
13 (1.6%)	121 (15.2%)	143 (18.0%)	206 (25.9%)	166 (20.9%)	133 (16.8%)	12 (1.5%)	32.7



郡市区等医師会会員に占める女性の割合は、20%未満が 54.2%を占め、次いで 10%未満が 36.9%となっている。

図・表7 医師会員に占める女性の割合(n=781) *無回答を除く

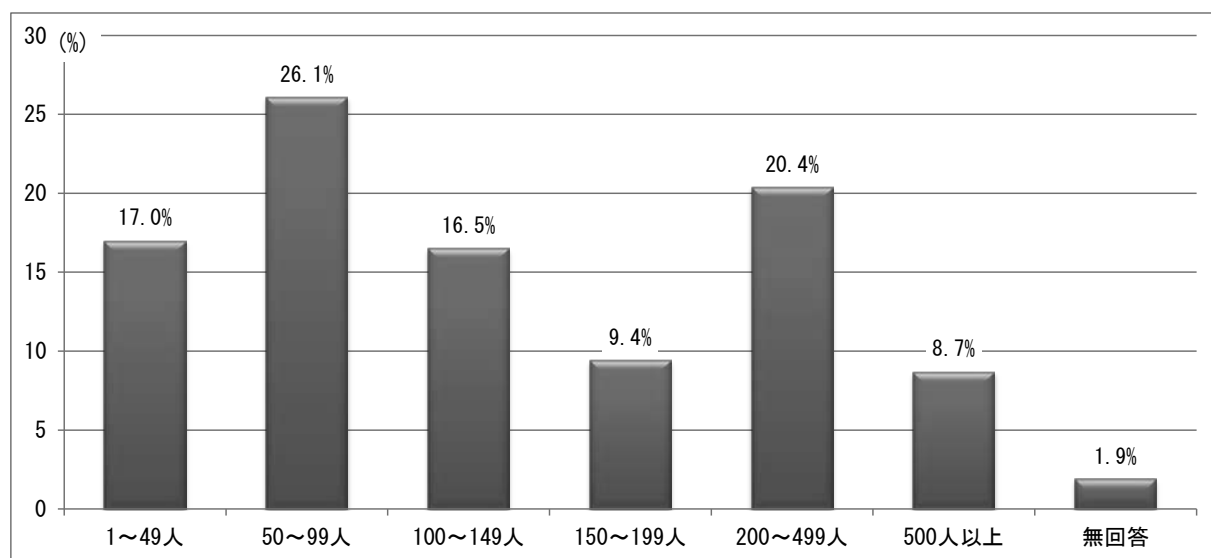
10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90～100%
288 (36.9%)	423 (54.2%)	63 (8.1%)	6 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)



郡市区等医師会における都道府県医師会会員数は、50～99人が26.1%と最も多く、200～499人が20.4%で続いた。都道府県医師会会員数の平均は208.4人であった。

図・表8 都道府県医師会会員数(n=794)

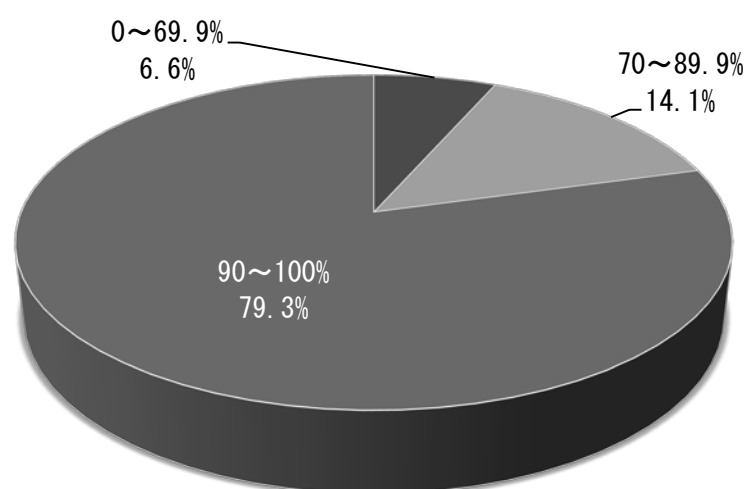
1～49人	50～99人	100～149人	150～199人	200～499人	500人以上	無回答	平均
135 (17.0%)	207 (26.1%)	131 (16.5%)	75 (9.4%)	162 (20.4%)	69 (8.7%)	15 (1.9%)	208.4



郡市区等医師会会員で、都道府県医師会に入会している割合は、90～100%が79.3%を占めている。

図・表9 医師会員に占める都道府県医師会会員の割合(n=778) *無回答を除く

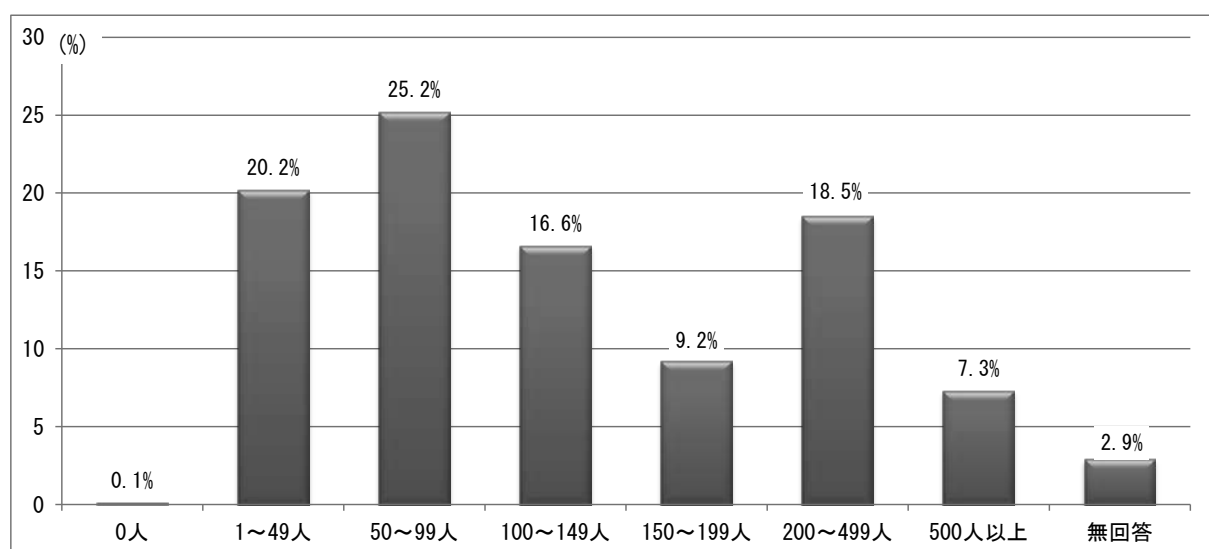
10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90～100%
0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	2 (0.3%)	5 (0.6%)	12 (1.5%)	30 (3.9%)	40 (5.1%)	70 (9.0%)	617 (79.3%)



郡市区等医師会における日本医師会会員数は、50～99 人が 25.2%と最も多く、1～49 人が 20.2%で続いた。日本医師会会員数の平均は 192.1 人であった。

図・表10 日本医師会会員数(n=794)

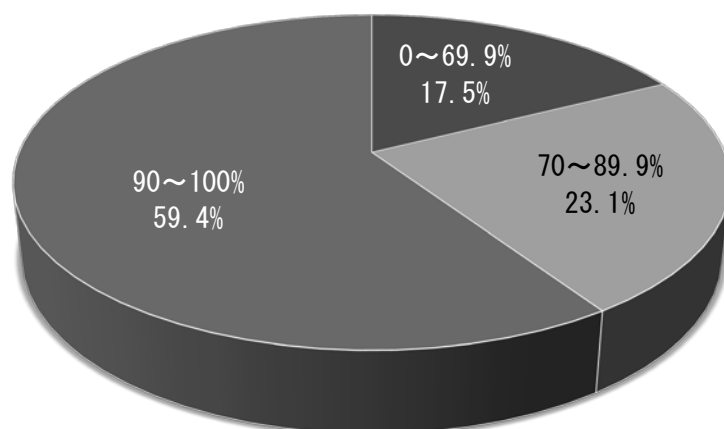
0 人	1～49 人	50～99 人	100～149 人	150～199 人	200～499 人	500 人以上	無回答	平 均
1 (0.1%)	160 (20.2%)	200 (25.2%)	132 (16.6%)	73 (9.2%)	147 (18.5%)	58 (7.3%)	23 (2.9%)	192.1



郡市区等医師会会員で、日本医師会に入会している割合は、90～100%が 59.4%を占めている。

図・表11 医師会員に占める日本医師会会員の割合(n=770) *無回答を除く

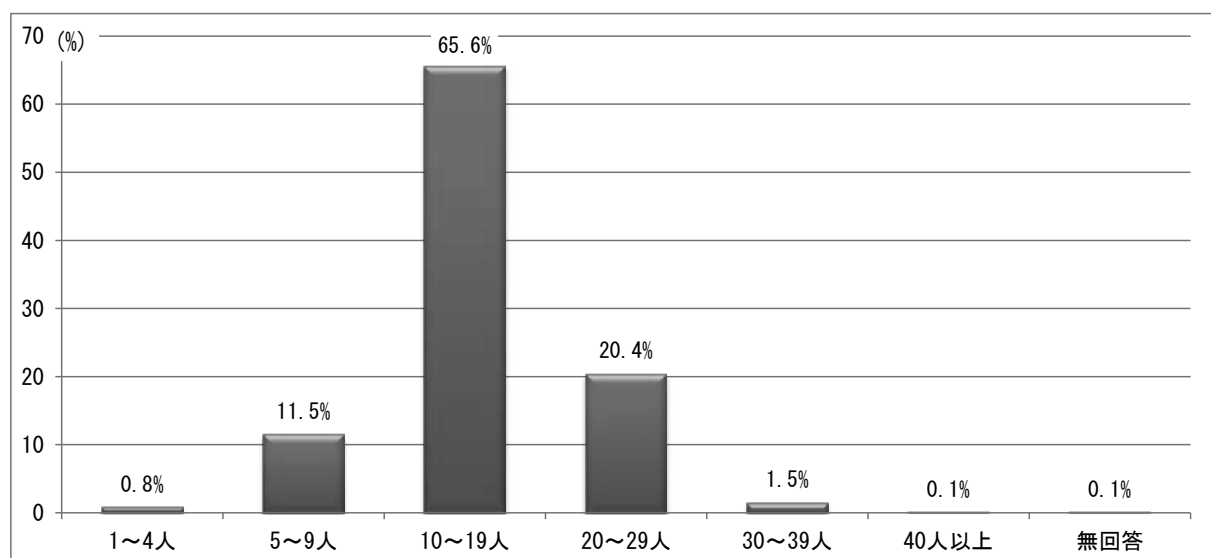
10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90～100%
4 (0.5%)	5 (0.6%)	5 (0.6%)	8 (1.0%)	24 (3.1%)	45 (5.8%)	44 (5.7%)	73 (9.5%)	105 (13.6%)	457 (59.4%)



郡市区等医師会における役員数は10～19人が65.6%で最も多く、平均で15.6人であった。

図・表12 役員数(n=794)

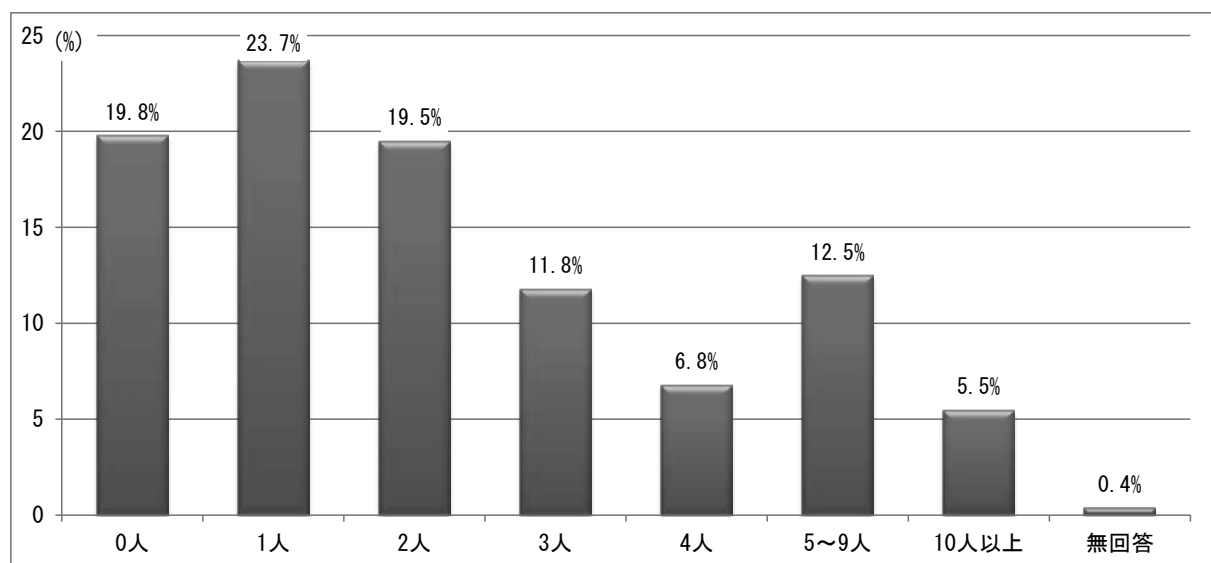
1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40人以上	無回答	平均
6 (0.8%)	91 (11.5%)	521 (65.6%)	162 (20.4%)	12 (1.5%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	15.6



郡市区等医師会役員に占める勤務医の平均人数は2.9人となっており、役員の平均人数と比較して、5分の1以下にとどまっている。

図・表13 役員数(勤務医)(n=794)

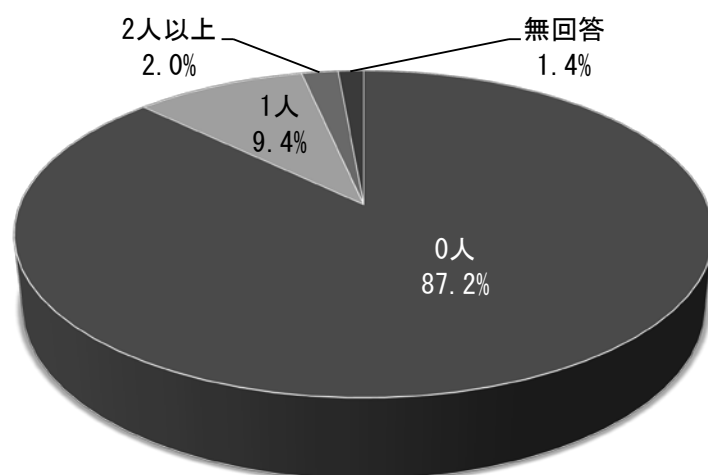
0人	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上	無回答	平均
157 (19.8%)	188 (23.7%)	155 (19.5%)	94 (11.8%)	54 (6.8%)	99 (12.5%)	44 (5.5%)	3 (0.4%)	2.9



郡市区等医師会役員に占める女性勤務医の平均人数は 0.2 人となっており、0 人との回答が 87.2%を占めた。

図・表 14 役員数(女性勤務医)(n=794)

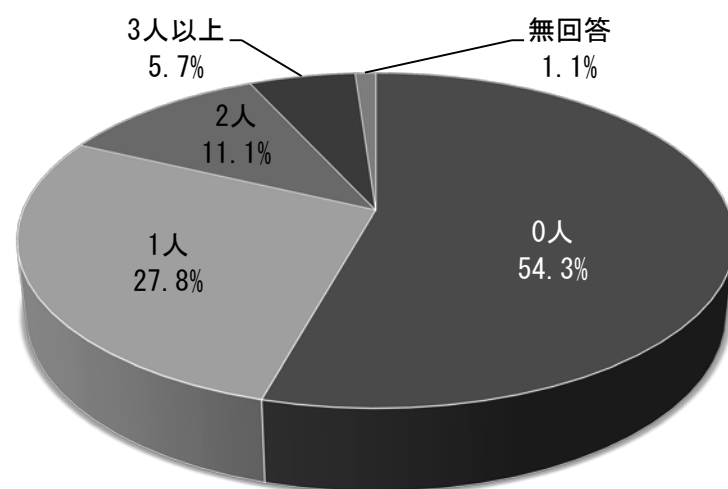
0 人	1 人	2 人	3 人以上	無回答	平 均
692 (87.2%)	75 (9.4%)	13 (1.6%)	3 (0.4%)	11 (1.4%)	0.2



郡市区等医師会役員に占める女性の平均人数は 0.7 人となっている。また、54.3%の郡市区等医師会は、女性役員がいないと回答した。

図・表 15 役員数(女性)(n=794)

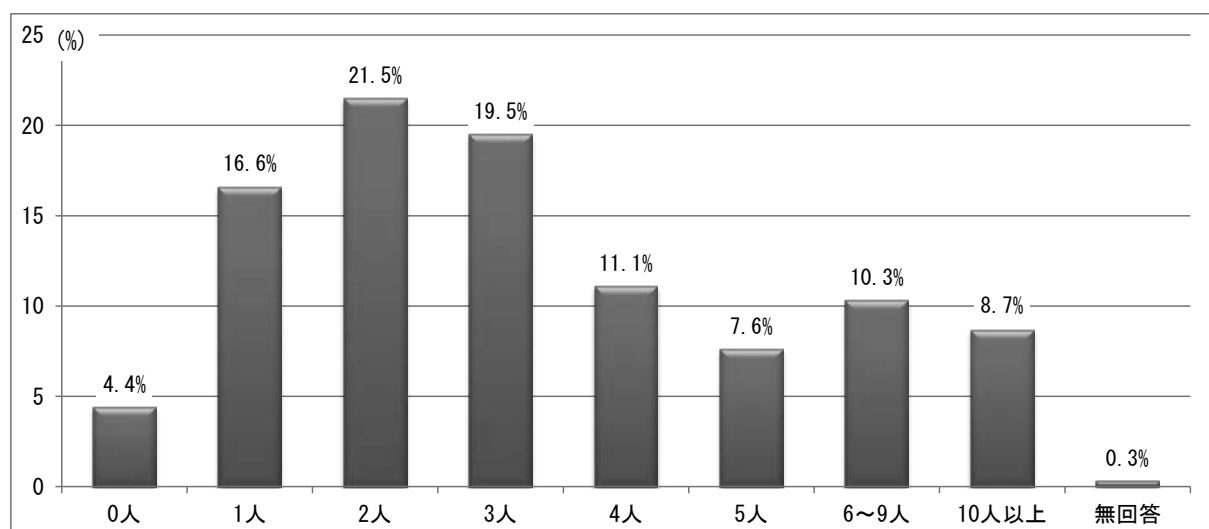
0 人	1 人	2 人	3 人	4 人以上	無回答	平 均
431 (54.3%)	221 (27.8%)	88 (11.1%)	34 (4.3%)	11 (1.4%)	9 (1.1%)	0.7



郡市区等医師会が選出する都道府県医師会代議員数は、平均で 4.7 人であった。

図・表 16 都道府県医師会代議員数(n=794)

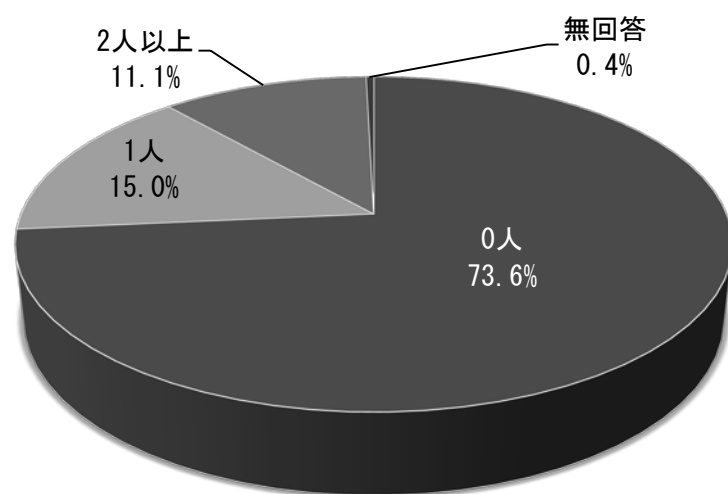
0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6～9 人	10 人以上	無回答	平 均
35 (4.4%)	132 (16.6%)	171 (21.5%)	155 (19.5%)	88 (11.1%)	60 (7.6%)	82 (10.3%)	69 (8.7%)	2 (0.3%)	4.7



都道府県医師会代議員に占める勤務医の平均人数は 0.7 人であり、代議員の平均人数と比較して、6 分の 1 以下にとどまっている。

図・表 17 都道府県医師会代議員数(勤務医)(n=794)

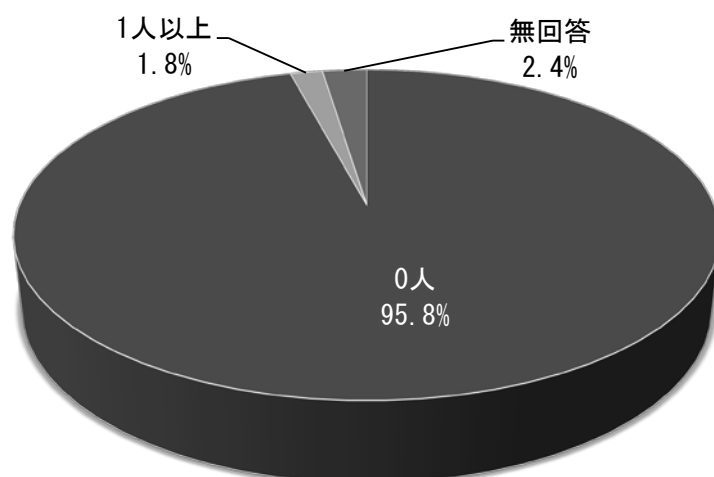
0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	無回答	平 均
584 (73.6%)	119 (15.0%)	32 (4.0%)	19 (2.4%)	10 (1.3%)	27 (3.4%)	3 (0.4%)	0.7



都道府県医師会代議員に占める女性勤務医の平均人数は 0.02 人となっており、0 人との回答が 95.8%に及んだ。

図・表18 都道府県医師会代議員数(女性勤務医)(n=794)

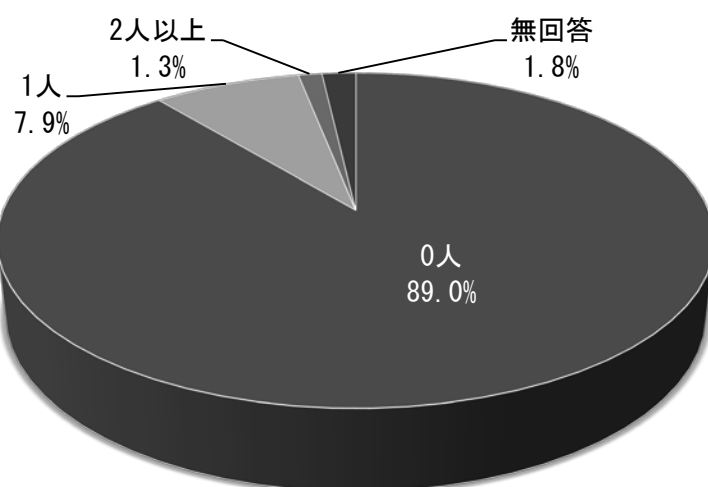
0 人	1 人	2 人	3 人	無回答	平 均
761 (95.8%)	11 (1.4%)	2 (0.3%)	1 (0.1%)	19 (2.4%)	0.02



都道府県医師会代議員に占める女性の平均人数は 0.1 人となっており、0 人との回答が 89.0%を占めた。

図・表19 都道府県医師会代議員数(女性)(n=794)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	無回答	平 均
707 (89.0%)	63 (7.9%)	6 (0.8%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	14 (1.8%)	0.1

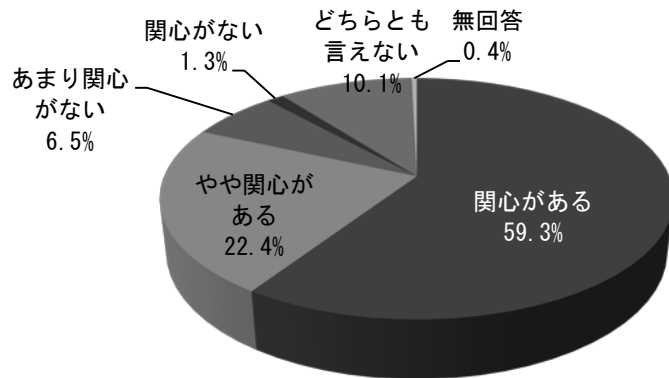


2. 勤務医の入会促進について

勤務医の入会促進について尋ねたところ、関心があるとの回答が 81.7%（「関心がある」「やや関心がある」の合計）を占める一方で、関心がないとの回答が 7.8%（「あまり関心がない」「関心がない」の合計）にとどまり、郡市区等医師会の勤務医の入会促進に係る関心の高さがうかがえる。

図・表20 勤務医の入会促進について(n=794)

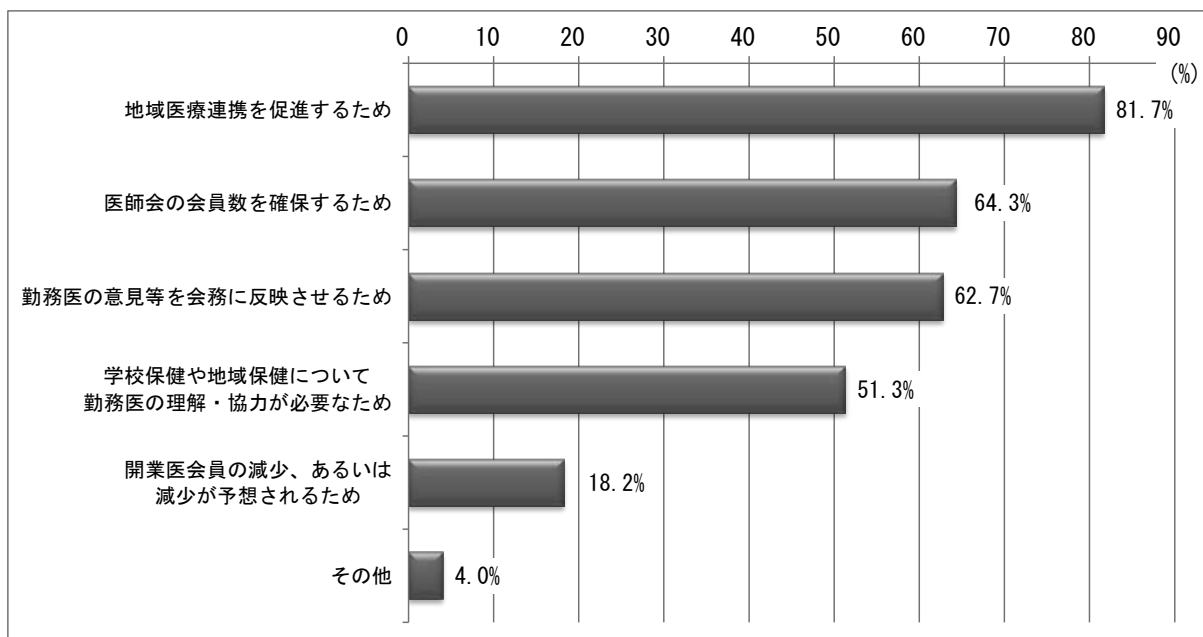
関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	どちらとも言えない	無回答
471 (59.3%)	178 (22.4%)	52 (6.5%)	10 (1.3%)	80 (10.1%)	3 (0.4%)



勤務医の入会促進に関心があると回答した 649 の医師会にその理由を尋ねたところ、地域医療連携を促進するためが 81.7%で最も多く、次いで、医師会の会員数を確保するためが 64.3%、勤務医の意見等を会務に反映させるためが 62.7%となっている。

図・表21 勤務医の入会促進に関心がある理由(n=649 複数回答)

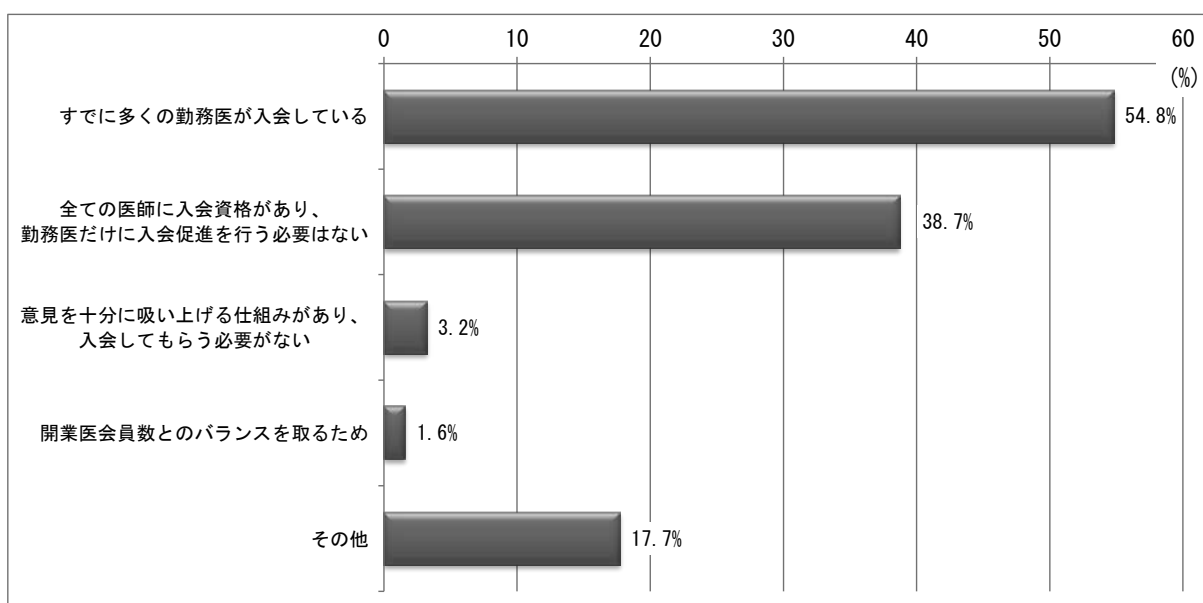
地域医療連携を促進するため	医師会の会員数を確保するため	勤務医の意見等を会務に反映させるため	学校保健や地域保健について勤務医の理解・協力が必要なため	開業医会員の減少、あるいは減少が予想されるため	その他
530 (81.7%)	417 (64.3%)	407 (62.7%)	333 (51.3%)	118 (18.2%)	26 (4.0%)



勤務医の入会促進に関心がないと回答した 62 の医師会にその理由を尋ねたところ、すでに多くの勤務医が入会しているが 54.8%で最も多く、次いで、全ての医師に入会資格があり、勤務医だけに入会促進を行う必要がないが 38.7%となっている。

図・表22 勤務医の入会促進に関心がない理由(n=62 複数回答)

すでに多くの勤務医が入会している	全ての医師に入会資格があり、勤務医だけに入会促進を行う必要はない	意見を十分に吸い上げる仕組みがあり、入会してもらう必要がない	開業医会員数とのバランスを取るため	その他
34 (54.8%)	24 (38.7%)	2 (3.2%)	1 (1.6%)	11 (17.7%)

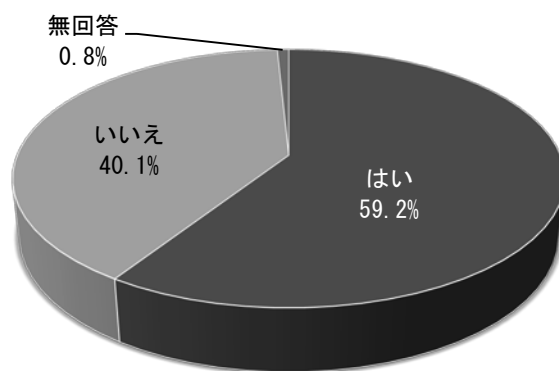


3. 勤務医の入会促進に向けた取り組みの実施状況

勤務医の入会促進に向けた取り組みの実施状況について尋ねたところ、実施している医師会が 59.2%、実施していない医師会が 40.1%となり、勤務医の入会促進に関心はある(81.7%)ものの、具体的な取り組みまでには至っていないという現状がうかがえる。

図・表23 勤務医の入会促進に向けた取り組みの実施状況(n=794)

はい	いいえ	無回答
470 (59.2%)	318 (40.1%)	6 (0.8%)



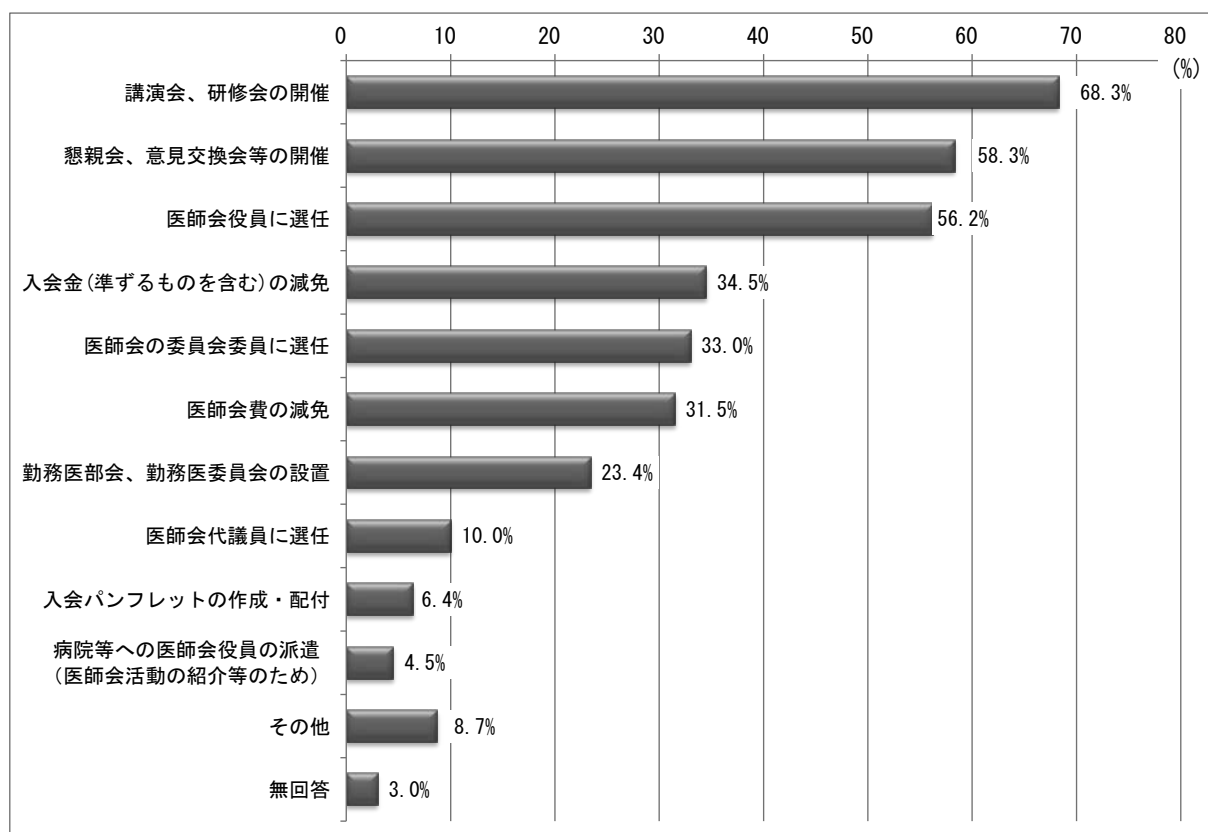
勤務医の入会促進に向けた取り組みを実施していると回答した 470 の医師会にその内容を尋ねたところ、講演会、研修会の開催が 68.3%で最も多く、次いで、懇親会、意見交換会等の開催が 58.3%、医師会役員に選任が 56.2%となっている。

入会パンフレットの作成・配付は 6.4%、医師会活動紹介のための病院等への医師会役員派遣は 4.5%にとどまった。

図・表24 勤務医の入会促進に向けた取り組みの内容(n=470 複数回答)

講演会、研修会の開催	懇親会、意見交換会等の開催	医師会役員に選任	入会金(準ずるものを含む)の減免	医師会の委員会委員に選任	医師会費の減免
321 (68.3%)	274 (58.3%)	264 (56.2%)	162 (34.5%)	155 (33.0%)	148 (31.5%)

勤務医部会、勤務医委員会の設置	医師会代議員に選任	入会パンフレットの作成・配付	病院等への医師会役員の派遣(医師会活動の紹介等のため)	その他	無回答
110 (23.4%)	47 (10.0%)	30 (6.4%)	21 (4.5%)	41 (8.7%)	14 (3.0%)

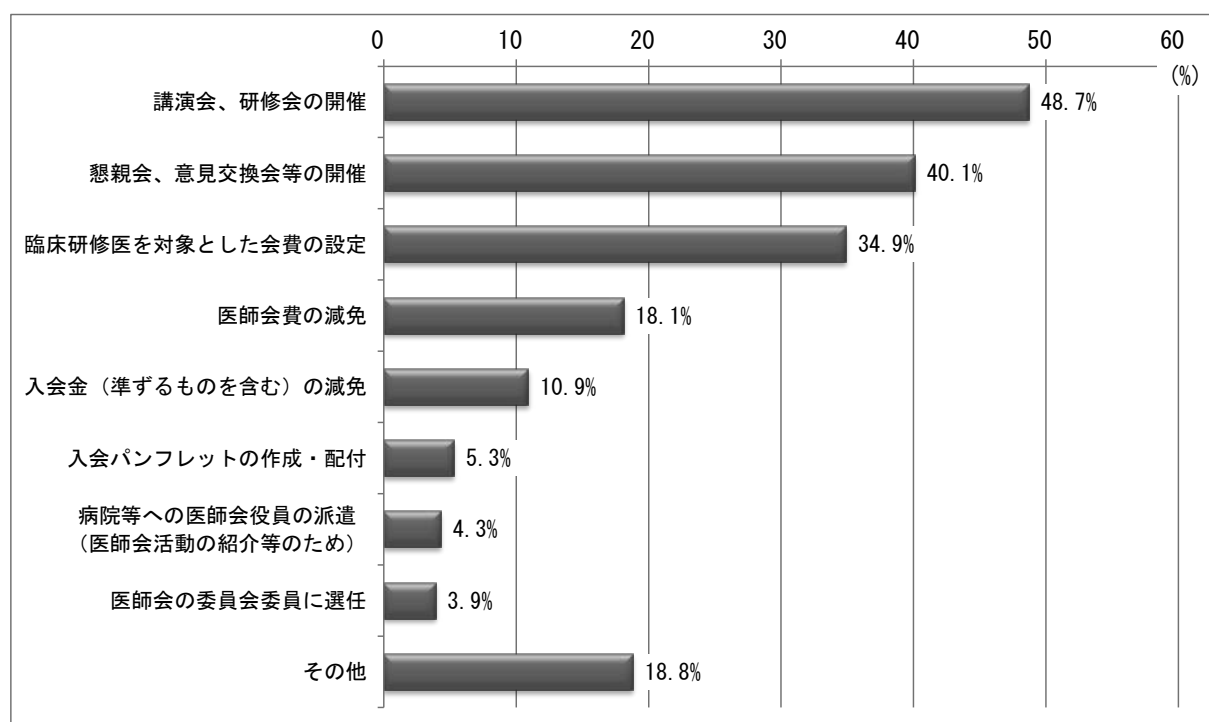


特に、臨床研修医を対象とした入会促進の取り組みを尋ねたところ、講習会、研修会の開催が48.7%、懇親会、意見交換会等の開催が40.1%と上位を占め、臨床研修医を対象とした会費の設定が34.9%と続いた。

図・表25 臨床研修医の入会促進に向けた取り組みの内容(n=304 複数回答) *無回答を除く

講演会、研修会の開催	懇親会、意見交換会等の開催	臨床研修医を対象とした会費の設定	医師会費の減免	入会金(準ずるものを含む)の減免
148 (48.7%)	122 (40.1%)	106 (34.9%)	55 (18.1%)	33 (10.9%)

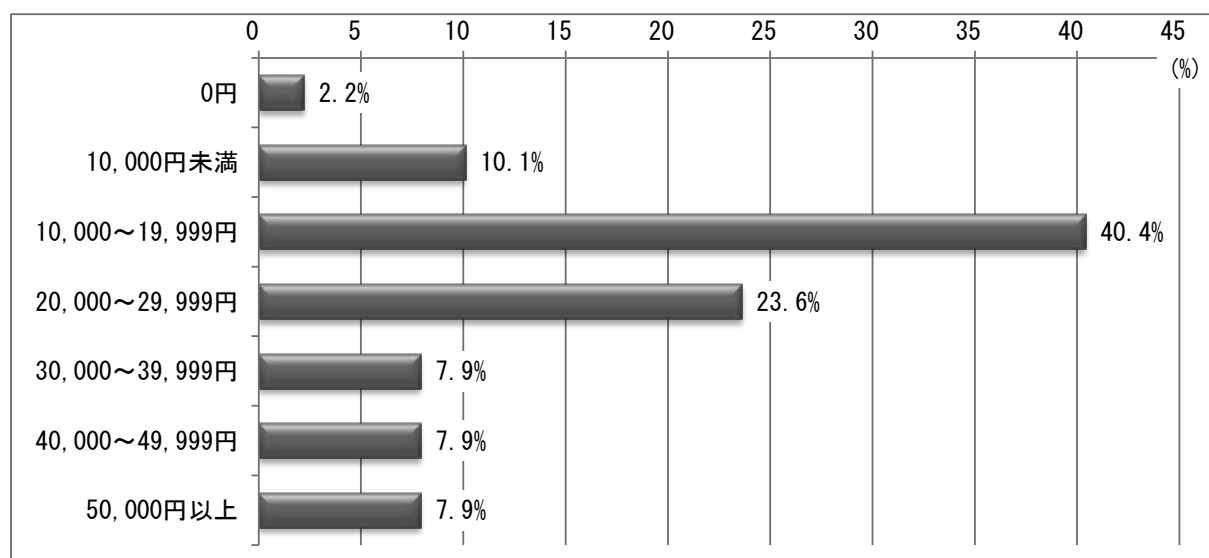
入会パンフレットの作成・配付	病院等への医師会 役員の派遣(医師会 活動の紹介等のため)	医師会の委員会委員 に選任	その他
16 (5.3%)	13 (4.3%)	12 (3.9%)	57 (18.8%)



臨床研修医を対象とした会費を設定していると回答した 106 の医師会に、勤務医と臨床研修医の年会費を尋ねたところ、勤務医年会費については 89 医師会、臨床研修医年会費については 98 医師会から回答があった。勤務医の年会費では 10,000～19,999 円が 40.4%と最も多いが、臨床研修医の年会費については、無料との回答が 36.7%と最も多かった。年会費の平均は、勤務医が 26,059.6 円、臨床研修医が 5,381.8 円であった。

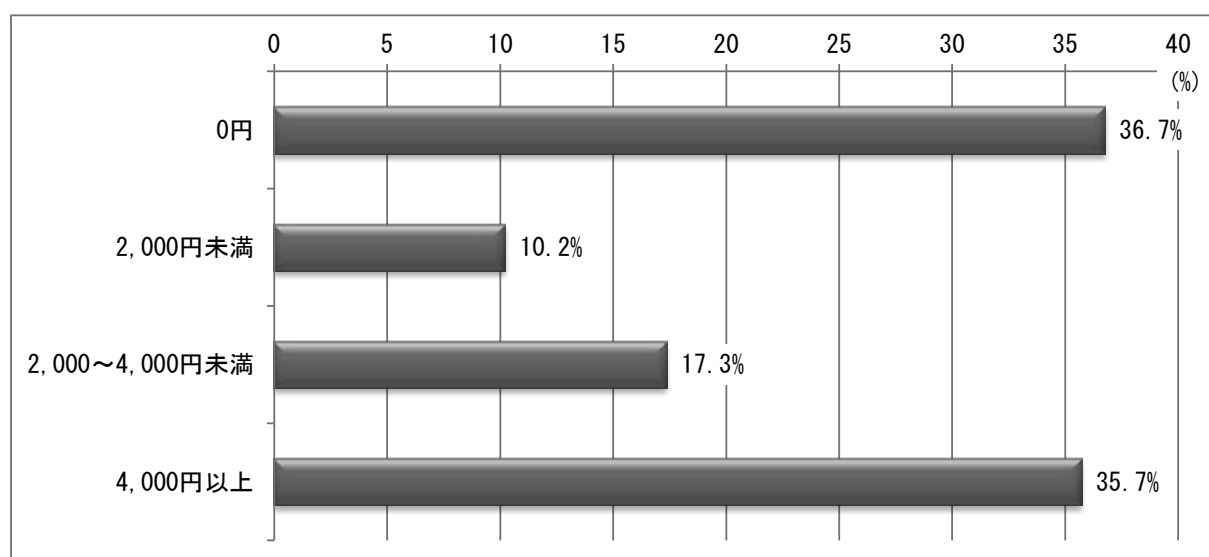
図・表26 勤務医年会費 (n=89) *無回答を除く

0 円	10,000 円未満	10,000～19,999 円	20,000～29,999 円	30,000～39,999 円	40,000～49,999 円	50,000 円以上	平 均
2 (2.2%)	9 (10.1%)	36 (40.4%)	21 (23.6%)	7 (7.9%)	7 (7.9%)	7 (7.9%)	26,059.6



図・表27 臨床研修医年会費 (n=98) *無回答を除く

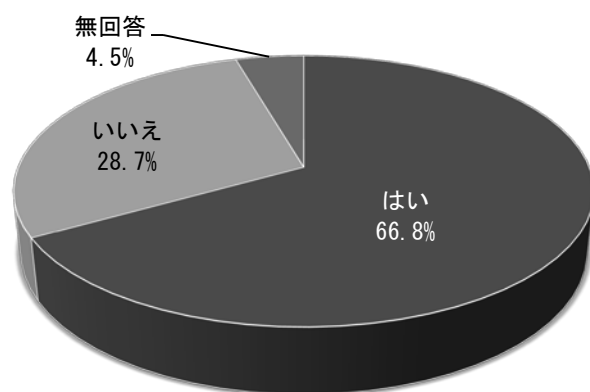
0 円	1,000 円未満	1,000～1,999 円	2,000～2,999 円	3,000～3,999 円	4,000～4,999 円	5,000 円以上	平 均
36 (36.7%)	0 (0.0%)	10 (10.2%)	5 (5.1%)	12 (12.2%)	0 (0.0%)	35 (35.7%)	5,381.8



勤務医の入会促進に向けた取り組みについて、その影響の有無を尋ねたところ、66.8%の医師会が影響があったと回答した。

図・表28 勤務医の入会促進に向けた取り組みの影響(n=470)

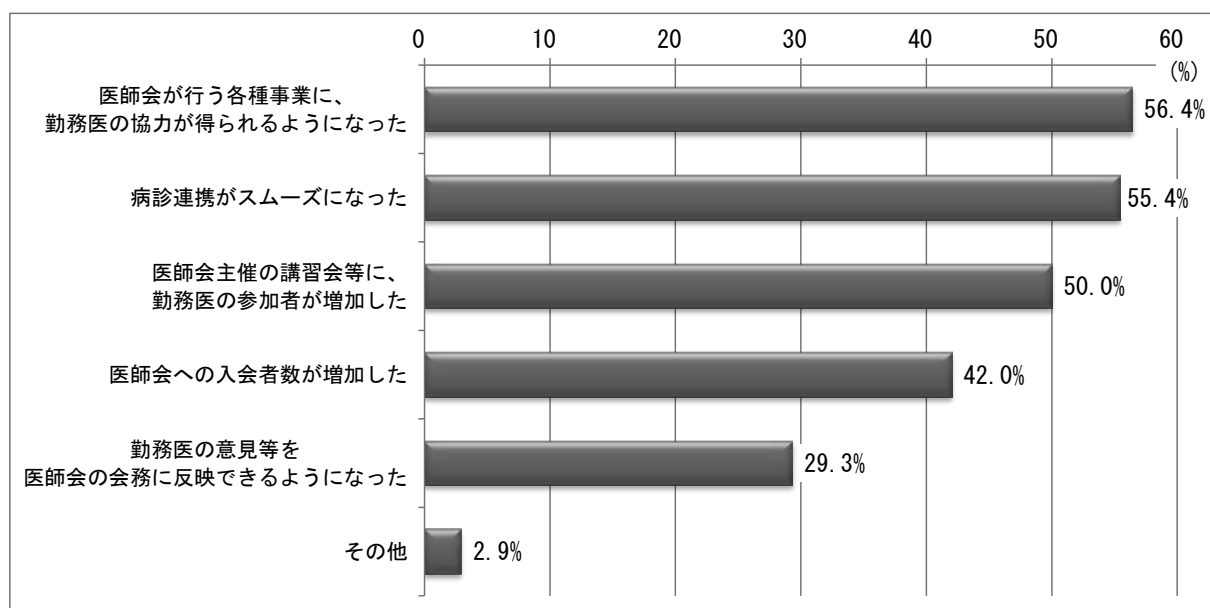
はい	いいえ	無回答
314 (66.8%)	135 (28.7%)	21 (4.5%)



勤務医の入会促進への取り組みで、影響があったと回答した314の医師会に、その影響の内容を尋ねたところ、医師会が行う各種事業に勤務医の協力が得られるようになったが56.4%で最も多く、病診連携がスムーズになったが55.4%、医師会主催の講習会等に勤務医の参加者が増加したが50.0%と続いた。

図・表29 勤務医の入会促進への取り組みの影響の内容(n=314 複数回答)

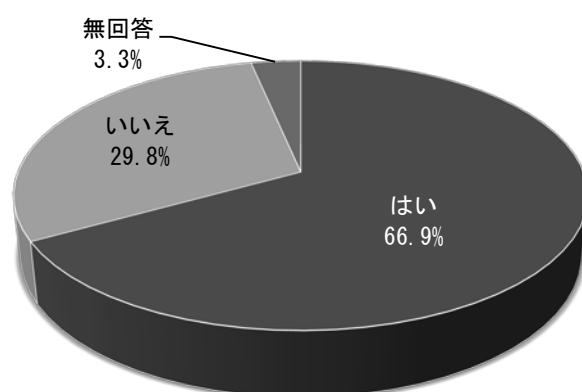
医師会が行う各種事業に、勤務医の協力が得られるようになった	病診連携がスムーズになった	医師会主催の講習会等に、勤務医の参加者が増加した	医師会への入会者数が増加した	勤務医の意見等を医師会の会務に反映できるようになった	その他
177 (56.4%)	174 (55.4%)	157 (50.0%)	132 (42.0%)	92 (29.3%)	9 (2.9%)



勤務医の入会促進策とは別に、勤務医との交流を図るための仕組みが確立しているか尋ねたところ、66.9%があると回答した。

図・表30 入会促進策とは別の勤務医との交流の有無(n=794)

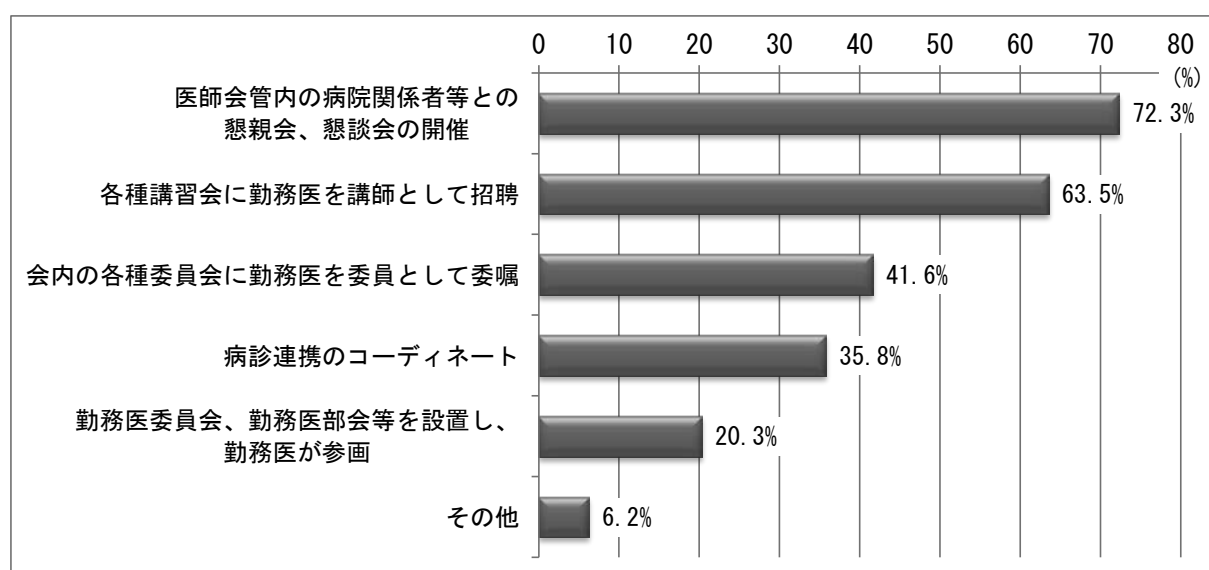
はい	いいえ	無回答
531 (66.9%)	237 (29.8%)	26 (3.3%)



勤務医の入会促進策とは別に、勤務医との交流を図るための仕組みが確立していると回答した 531 の医師会にその仕組みの内容を尋ねたところ、医師会管内の病院関係者等との懇親会、懇談会の開催が 72.3%と最も多く、次いで、各種講習会に勤務医を講師として招聘が 63.5%と多かった。

図・表31 入会促進策とは別の勤務医との交流の内容(n=531 複数回答)

医師会管内の病院関係者等との懇親会、懇談会の開催	各種講習会に勤務医を講師として招聘	会内の各種委員会に勤務医を委員として委嘱	病診連携のコーディネート	勤務医委員会、勤務医部会等を設置し、勤務医が参画	その他
384 (72.3%)	337 (63.5%)	221 (41.6%)	190 (35.8%)	108 (20.3%)	33 (6.2%)



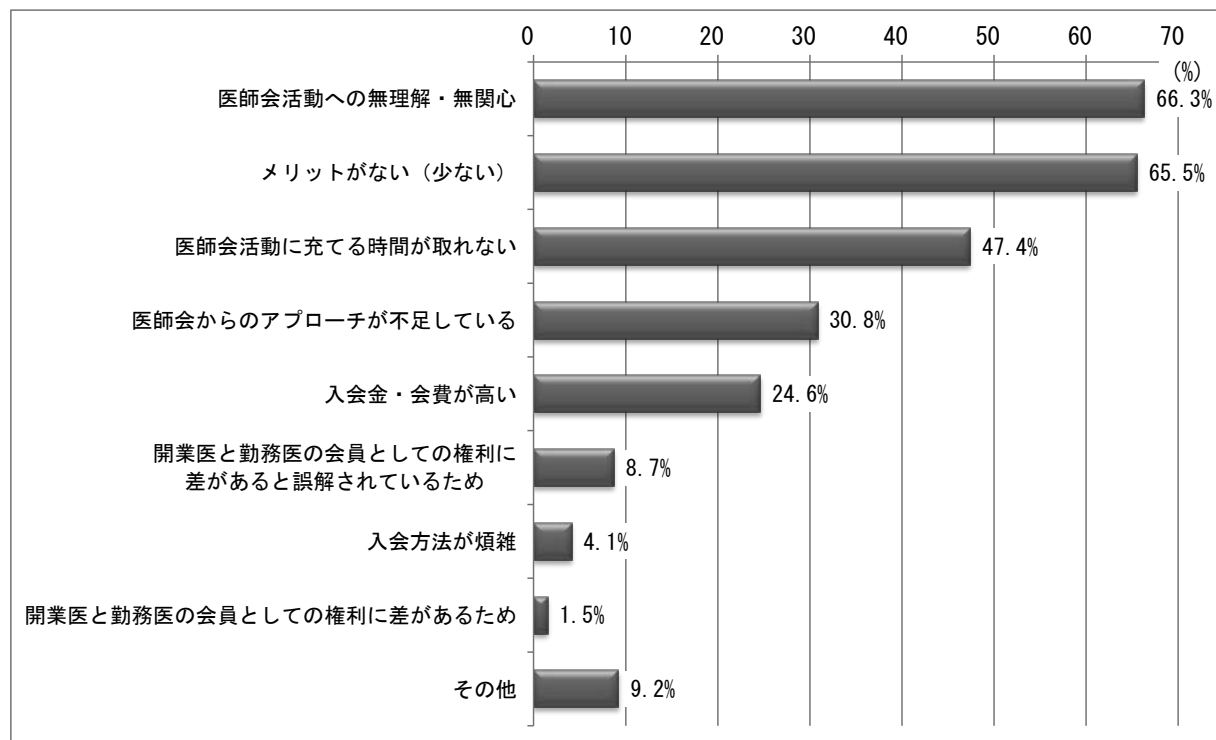
4. 勤務医が医師会に入会しない理由

勤務医が医師会に入会しない理由について尋ねたところ、医師会活動への無理解・無関心が66.3%と最も多く、メリットがない（少ない）が65.5%、医師会活動に充てる時間が取れないが47.4%と続いた。

入会金・会費が高いとの回答は24.6%にとどまっている。

図・表32 勤務医が医師会に入会しない理由（n＝736 複数回答） *無回答を除く

医師会活動への 無理解・無関心	メリットがない(少な い)	医師会活動に充てる 時間が取れない	医師会からのアプロ ーチが不足している	入会金・会費が高い
488 (66.3%)	482 (65.5%)	349 (47.4%)	227 (30.8%)	181 (24.6%)
開業医と勤務医の会 員としての権利に差 があると誤解されて いるため	入会方法が煩雑	開業医と勤務医の会 員としての権利に差 があるため	その他	
64 (8.7%)	30 (4.1%)	11 (1.5%)	68 (9.2%)	

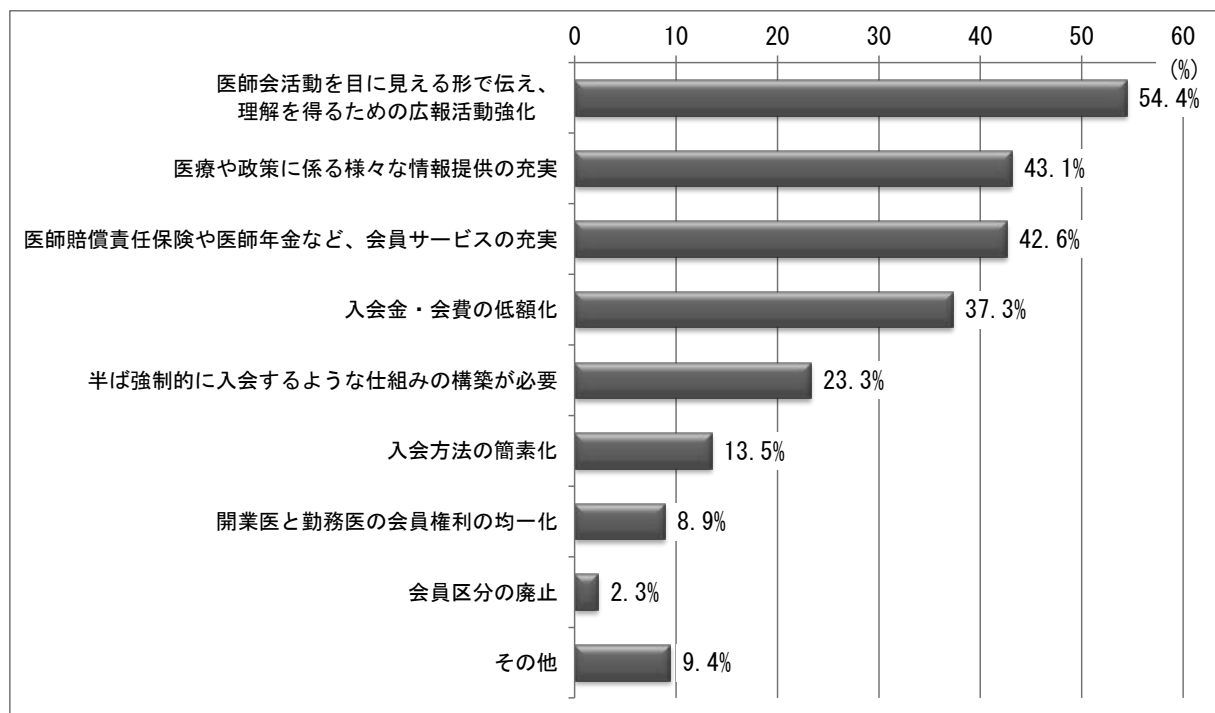


5. 勤務医が医師会に入会するための改善策

勤務医が医師会に入会するための改善策を尋ねたところ、医師会活動を目に見える形で伝え、理解を得るための広報活動強化が54.4%と最も多く、次いで、医療や政策に係る様々な情報提供の充実が43.1%、医師賠償責任保険や医師年金など、会員サービスの充実が42.6%となっている。

図・表33 勤務医が医師会に入会するための改善策(n=734 複数回答) *無回答を除く

医師会活動を目に見える形で伝え、理解を得るための広報活動強化	医療や政策に係る様々な情報提供の充実	医師賠償責任保険や医師年金など、会員サービスの充実	入会金・会費の低額化	半ば強制的に入会するような仕組みの構築が必要
399 (54.4%)	316 (43.1%)	313 (42.6%)	274 (37.3%)	171 (23.3%)
入会方法の簡素化	開業医と勤務医の会員権利の均一化	会員区分の廃止	その他	
99 (13.5%)	65 (8.9%)	17 (2.3%)	69 (9.4%)	



郡市区等医師会における勤務医に係る調査
調 査 票

平成25年7月 日本医師会

■ 平成25年4月1日現在の状況でご回答ください

1. 公益社団法人 2. 一般社団法人 3. その他（ ）	医師会
-------------------------------------	-----

※ 法人格がないときは「3. その他」に“なし”とご記入ください。

問 1-1. 貴医師会の会員に占める勤務医及び女性の数

※該当者がいない場合「0」とご記入下さい。

会 員	人 中	〔 勤務医 女 性	人（うち女性勤務医 人	人）
-----	-----	--------------	----------------	----

※ 本調査において「勤務医」とは、下記の①～④を除いた者をいう

- ① 病院（医育機関附属の病院を除く）の開設者又は法人の代表者
- ② 診療所の開設者又は法人の代表者
- ③ 介護老人保健施設の開設者又は法人の代表者
- ④ 無職の者

問 1-2. 「問 1-1」の会員中、都道府県医師会及び日本医師会会員数

※該当者がいない場合「0」とご記入下さい。

都道府県医師会会員数	人、	日本医師会会員数	人
------------	----	----------	---

問 1-3. 貴医師会の役員に占める勤務医及び女性の数

※該当者がいない場合「0」とご記入下さい。

役 員	人 中	勤務医 女 性	人（うち女性勤務医 人	人）
-----	-----	------------	----------------	----

問 1-4. 貴医師会選出の都道府県医師会代議員に占める勤務医及び女性の数

※該当者がいない場合「0」とご記入下さい。

代議員	人中	勤務医 女 性	人（うち女性勤務医 人	人）
-----	----	------------	----------------	----

問 2-1. 貴医師会では勤務医の入会促進についてどうお考えですか

1. 関心がある	2. やや関心がある	→ (問 2-2) へ
3. あまり関心がない	4. 関心がない	5. どちらとも言えない
→ (問 2-3) へ		→ (問 3-1) へ

問 2-2. 「問 2-1」で「1. 関心がある」「2. やや関心がある」と回答された医師会にお伺いします。それはなぜですか（複数回答可）

1. 医師会の会員数を確保するため
2. 開業医会員の減少、あるいは減少が予想されるため
3. 勤務医の意見等を会務に反映させるため
4. 地域医療連携を促進するため
5. 学校保健や地域保健について勤務医の理解・協力が必要なため
6. その他 ()

問 2-3. 「問 2-1」で「3. あまり関心がない」「4. 関心がない」と回答された医師会にお伺いします。それはなぜですか（複数回答可）

1. すでに多くの勤務医が入会している
2. 開業医会員数とのバランスを取るため
3. 全ての医師に入会資格があり、勤務医だけに入会促進を行う必要はない
4. 勤務医の意見を十分に吸い上げる仕組みがあり、入会してもらう必要がない
5. その他 ()

問3-1. 貴医師会では勤務医の入会促進に向けた取り組みを行っていますか

1. はい	2. いいえ
↓	→ (問3-7) へ

問3-2. それはどのような取り組みですか (複数回答可)

1. 懇親会、意見交換会等の開催	7. 入会金(準ずるものを含む)の減免
2. 講演会、研修会の開催	8. 医師会費の減免
3. 医師会役員に選任	9. 入会パンフレットの作成・配付
4. 医師会代議員に選任	10. 病院等への医師会役員の派遣 (医師会活動の紹介等のため)
5. 勤務医部会、勤務医委員会の設置	
6. 医師会の委員会委員に選任	
11. その他	

問3-3. 特に、臨床研修医を対象にした取り組みはありますか (複数回答可)

1. 懇親会、意見交換会等の開催	6. 医師会費の減免
2. 講演会、研修会の開催	7. 入会パンフレットの作成・配付
3. 医師会の委員会委員に選任	8. 病院等への医師会役員の派遣 (医師会活動の紹介等のため)
4. 臨床研修医を対象とした会費の設定	
5. 入会金(準ずるものを含む)の減免	
9. その他	

問3-4. 「問3-3」で、「4. 臨床研修医を対象とした会費の設定」に“○”を付けた医師会は、勤務医と臨床研修医の年会費をご記入ください

勤務医年会費： 円	臨床研修医年会費： 円
--------------------------------	----------------------------------

※ 勤務医の会費が職種等によって異なる場合は、勤務医会費の一覧表を添付してください

問3-5. 勤務医の入会促進に向けた取り組みを行った結果、影響がありましたか

1. はい	2. いいえ
↓	→ (問3-7) へ

問3-6. それはどのような影響ですか (複数回答可)

1. 医師会への入会者数が増加した
2. 医師会主催の講習会等に、勤務医の参加者が増加した
3. 医師会が行う各種事業に、勤務医の協力が得られるようになった
4. 勤務医の意見等を医師会の会務に反映できるようになった
5. 病診連携がスムーズになった
6. その他 ()

問3-7. 入会促進策とは別に、勤務医との交流を図るための仕組みとして確立している取り組みはありますか

1. はい	2. いいえ
↓	→ (問4) へ

問3-8. それはどのような仕組みですか (複数回答可)

1. 各種講習会に勤務医を講師として招聘
2. 医師会管内の病院関係者等との懇親会、懇談会の開催
3. 病診連携のコーディネート
4. 勤務医委員会、勤務医部会等を設置し、勤務医が参画
5. 会内の各種委員会に勤務医を委員として委嘱
6. その他 ()

問4. 貴医師会では、勤務医が医師会に入会しない理由についてどうお考えですか
(複数回答可)

1. 入会金・会費が高い
2. メリットがない(少ない)
3. 入会方法が煩雑
4. 医師会活動に充てる時間が取れない
5. 医師会活動への無理解・無関心
6. 医師会からのアプローチが不足している
7. 開業医と勤務医の会員としての権利に差があるため
(具体的に:)
8. 開業医と勤務医の会員としての権利に差があると誤解されているため
9. その他 ()

問5. 貴医師会では、どのような課題が改善されれば、勤務医の医師会への入会が進むとお考えですか(複数回答可)

1. 医療や政策に係る様々な情報提供の充実
2. 医師賠償責任保険や医師年金など、会員サービスの充実
3. 入会方法の簡素化
4. 入会金・会費の低額化
5. 医師会活動を勤務医の目に見える形で伝え、理解を得るための広報活動強化
6. 半ば強制的に入会するような仕組みの構築が必要
7. 開業医と勤務医の会員権利の均一化
8. 会員区分の廃止
9. その他 ()

ご協力ありがとうございました。

<平成25年7月31日(水)までにご返送ください。>

勤務医委員会

委員長	泉 良 平	富山県医師会副会長・富山市病院事業管理者
副委員長	望 月 泉	岩手県医師会常任理事・岩手県立中央病院院長
委員	上 田 真喜子	大阪府医師会理事・大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学教授
〃	上 野 道 雄	福岡県医師会常任理事・独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター院長
〃	大久保 ゆかり	東京医科大学医師会理事・東京医科大学病院皮膚科学 講座教授
〃	岡 部 實 裕	北海道医師会常任理事・医療法人社団静和会 静和 記念病院院長
〃	弦 間 昭 彦	前東京都医師会理事・日本医科大学附属病院内科学 講座主任教授（平成 25 年 7 月 22 日まで）
〃	清 水 信 義	岡山県医師会副会長・独立行政法人労働者健康福祉 機構 岡山労災病院院長
〃	鈴 木 厚	川崎市立井田病院内科担当部長
〃	友 安 茂	東京都医師会理事・昭和大学病院客員教授（平成 25 年 7 月 23 日から）
〃	橋 本 省	宮城県医師会常任理事・独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター統括診療部長
〃	福 田 健	栃木県医師会副会長・獨協医科大学副学長
〃	藤 卷 わかえ	女子栄養大学教授

（委員：五十音順）